



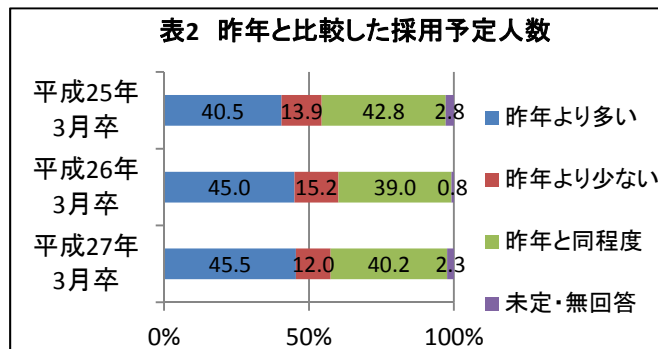
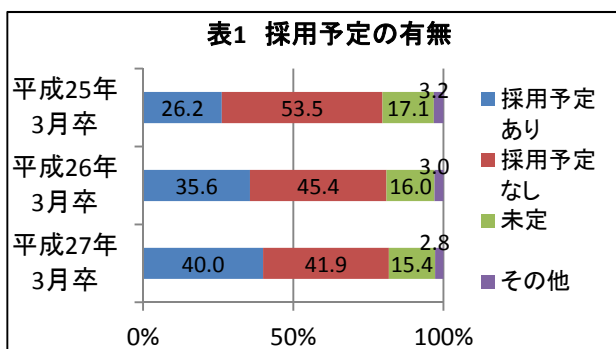
# 中堅・中小企業でも高まる 大学新卒社員の求人ニーズ



先日、厚生労働省より来春卒業予定の大学生などに対する中堅・中小企業の求人見込みについての調査結果が発表されました。この調査は、ハローワークが新規学卒者向けの求人提出を要請した事業所などに対して平成26年6月1日から7月31日までの間に行ったものになります。来春の採用予定が分かる内容となっていますので、その結果についてとり上げます。

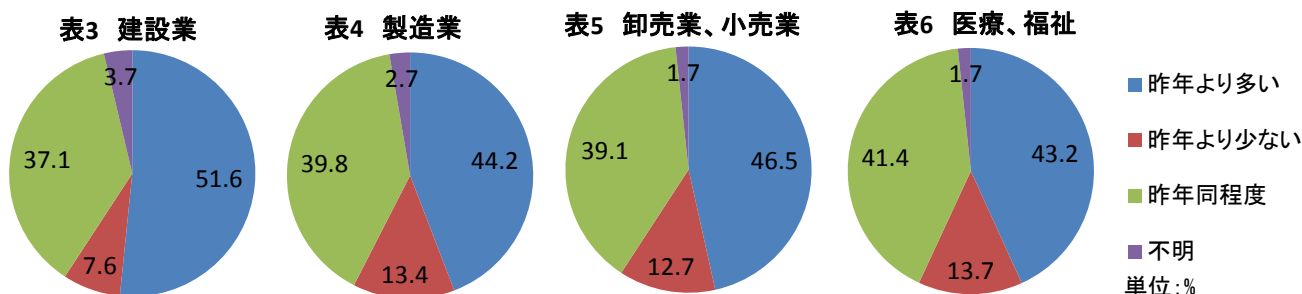
## 1.採用予定の全体動向

この調査は、各ハローワーク管轄内の従業員数が概ね1,000人以下の企業の中から33,091事業所に対して行われたものです。このうち「来春卒業予定の大学生等の採用予定がある」と回答した事業所は13,223事業所となっており、全体の40.0%（前年度35.6%）を占めています（表1参照）。また、この採用予定があると回答した事業所のうち、「昨年より多い人数を採用する予定」と回答した事業所は6,019事業所となっており、全体の45.5%を占め、前年度の45.0%より微増しています（表2参照）。



## 2.主な産業分類別の動向

次に「建設業」、「製造業」、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の4業種について、昨年と比較した採用予定を見てみると下表3から6のとおりとなります。これらのすべての業種について、「昨年より多い」と回答した事業所の割合が高くなっています。



今回の調査結果をみる限り、中堅・中小企業で大学新卒社員の求人ニーズが高まっていることがうかがえます。現在、採用は売り手市場にあることから、人材確保難に悩まされている企業も多いのではないのでしょうか。この売り手市場の状況はしばらく続くことが予想されるため、企業としては大学とのパイプづくりや処遇の見直しなど、人材獲得に向けたアクションをとっていくことが望まれます。